

教材紹介 カードの絵を見て作業の手順と方法を読み取ろう

その2：和紙の染め付け

狙い・ターゲット：

- 1) 手順や企画が難しいお子さんに簡単な絵で手順を示して、作業には順番がある事を知ってもらう。  
作業の流れをカードで順に並べて手順がある事に慣れてくると、自分で作業をする際にも計画を立て、簡単な絵カードを手がかりにしながら、自分で準備をするようになるかも知れないですね。最初に完成形をみせて、手順カードを子供達に並べてもらってもいいかもしれません。
- 2) 作業手順をよく読んで、作品を完成させる。

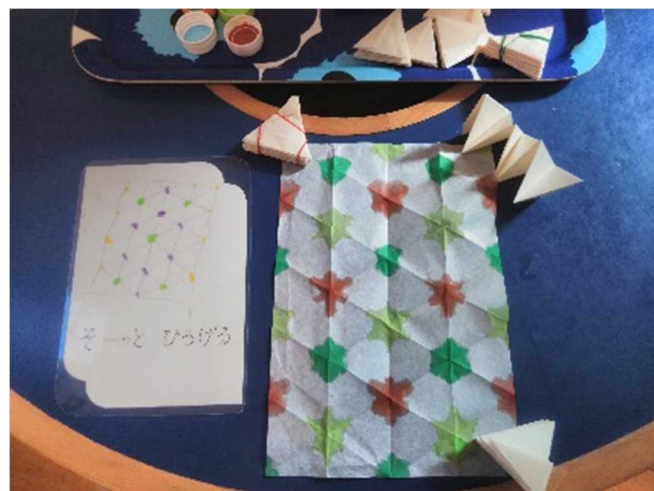
写真①



写真②



写真③



方法

- 1) 1番目から4番目まで絵カードを並べます。カードの絵は一部ドロップスを参考にしています。(写真①)
- 2) 好きな色を選んだ後、ペットボトルのキャップに絵の具を入れて水でときます。(写真②)
- 3) 予め和紙を正三角形や四角などに折って用意しておく。自分で折れそうなお子さんには、和紙を折るところから作業してもらうのも good! 三角又は四角の角はどこを指すのか確認してから、角の先端に絵の具を浸す。このとき絵の具を付け過ぎると、開く時紙が破れる場合があるので注意。特に和紙の代わりに習字の半紙などを使うと紙がとても弱いので水分を含ませすぎないように! (写真③)
- 4) 角を絵の具に浸した紙を開く時は最も慎重に作業しましょう! 濡れている紙は破れやすいです。

内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回の作業では、ものごとには手順がある事を知ってもらうのと、カードを読み取って手順通りに作業を進めていくこと。そして、最終目標は何か作業をする際には自分で計画を立てたり企画出来たりすることが目的ですが、作業自体にも注意深く取り組ませて下さい。</li><li>・角に絵の具を少し付けると言っても、少しがどれくらいか分からなかったりするので、角の先から1cmくらい、と言ってあげないと分からないお子さんもいらっしゃいます。また少し付けているつもりでも長く浸して紙がびちょびちょになってしまったりするかも知れません。作業手順に加減を知ることまでは書かれていなかったりもするので、どのくらいやったら綺麗に仕上がるのか実際に自分で何度も体験して知っていくのもいいと思います。</li><li>・紙を開く時に、「慎重に」とか「そーっと」というのがどういう事か知ること出来ますね。そーっとしないと破れますので、破れたら、次はもっと「そーっと」開いていかないといけないね、と言う事がわかるのです。</li></ul>
余談	<ul style="list-style-type: none"><li>・夏休みの工作になりそう！と喜んで持ち帰られたお母様がいらっしゃいました。うちわ作りが幼稚園の宿題だそうで、園児に白地のうちわが配られ、各自が絵を書いたり、折紙を折って貼ったりするなどしてうちわ作りをするそうです。毎年、明らかに親が作りました、という素晴らしい出来映えの作品が壁に飾られているようです。この和紙の染め付けなら仕上がりが綺麗な上、正真正銘本人がやっているのありがたい、と仰っていました。</li></ul>